



あ行

R P A

「Robotic Process Automation (ロボティック・プロセス・オートメーション)」の略。主にパソコンなどを用いて人力で行っていた作業をソフトウェア (コンピュータ・プログラム) に組み込まれたロボットが代行し、自動化すること。

I S O 1 4 0 0 1 :

国際標準化機構 (International Organization for Standardization) が発行した環境マネジメントシステムに関する国際規格の総称。環境マネジメントシステムとは、企業や自治体等の組織が自らの活動によって生じる環境への負荷を低減するように配慮・改善するための組織的な仕組みのことをいう。

I o T :

モノのインターネット (Internet of Things)。様々なモノ(物)に通信機能を搭載して、インターネットに接続、連携させる技術。

I C T :

英訳は Information and Communication Technology。情報技術を活用して様々な人やモノ(物)をつなげていくこと。

I ・ J ・ U ターン :

Iターンとは、生まれ育った場所以外に転居、就職すること。Jターンとは、地方で生まれ育った人が都市部で働き、その後また故郷とは違った別の地方に移住して働くこと。Uターンとは、地方で生まれ育った人が都市部で勤務した後に、再び自分の生まれ育った故郷に戻って働くことをいう。

愛の輪協力員 :

一人暮らしの高齢者等に対し、協力員として登録した近隣の住民が愛の一声をかけ、温かい援護の手を差し伸べながら、日常生活の不自由な面を補うとともに、緊急時における適切な処置など、安心して暮らすことができる地域社会をつくることを目的として、様々な地域活動に取り組んでいる。

I P 電話 :

電話会社の一般加入電話網を経由せず、インターネットを経由して音声通話を行うサービスのこと。インターネットを使っている部分には通話料金がかからないため、一般加入電話網を使う電話に比べて安く利用できる。

アウトリーチ：

直訳すると「外に手を伸ばす」。福祉分野では、支援が必要であるにも関わらず、届いていない人に対し、行政や支援機関などが積極的に働きかけて、情報や支援を届けるプロセスをいう。

アダプトプログラム：

アダプト (adopt) は、英語で養子にするという意味。道路や河川等の公共の場所を養子に見立て、住民や企業等が里親となって、美しい生活環境や快適な空間をつくるシステムのこと。

一般世帯：

国勢調査で用いられる世帯の定義で、次の世帯を指す。

- ① 住居と生計を共にしている人々の集まり又は一戸を構成して住んでいる単身者
- ② ①の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などに下宿している単身者
- ③ 会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舎、独身寮などに居住している単身者

インバウンド：

主に日本の観光業界において「外国人の訪日旅行」あるいは「訪日外国人観光客」の意味で用いられる語。

インフォーマルサービス：

公的機関や専門職による制度に基づくサービスや支援（フォーマルサービス）以外の支援。具体的には家族、近隣住民、友人、民生委員、ボランティアなどの制度に基づかない援助などが挙げられる。

AI：

人工知能。

エコツーリズム：

地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その大切さが理解され、保全につながっていくことを目指していく仕組みのこと。

SIB（エスアイビー）：

ソーシャル・インパクト・ボンド（Social Impact Bond）の頭文字。民間の活力を社会的課題の解決に活用するため、民間資金を呼び込み、成果報酬型の委託事業を実施する新たな社会的投資の取組。

SNS：

ソーシャルネットワーキングサービス（Social Networking Service）の略。インターネット上で人と人とのつながりや交流を楽しむコミュニティ型の会員制サービス。

NPO：

様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としない団体の総称。広義では非営利団体のことを指す。

FTTH :

光ファイバーによる家庭向けのデータ通信サービスのこと。光ファイバーを一般個人の家屋へ直接引き込んだネットワーク回線により、高速かつ大容量のデータ通信サービスが可能である。

オールイングリッシュ :

教師の指示等も英語だけを使った学習方法。

温室効果ガス :

地球温暖化とは、人間の活動が活発になるにつれて温室効果ガスが大気中に大量に放出され、地球全体の平均気温が上昇する現象のこと。二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素、フロン等が温室効果ガスといわれている。



か行

カスタマイズ :

パソコンなどで使用者の必要に応じて設定を変更すること。

カリキュラム・マネジメント :

各学校が教育課程（カリキュラム）を編成・実施・評価し、改善を図る一連のサイクルを計画的・組織的に推進していき、教育の質を高めること。

環太平洋パートナーシップ（TPP）:

太平洋を囲む国々が輸入品の関税をなくしたり、人やお金の行き来をやすくしたりして、自由な経済圏を作る取組。

キャリア教育 :

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。また、単に社会的・職業的自立だけでなく、自分らしい生き方を実現するための力を育む教育。

キャリア・パスポート :

キャリア発達（社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程）を促す様々な学習経験や活動の記録等を児童生徒自身が書き込むもの。小学校から高等学校までの12年間、学年、校種間で引き継がれていく。

QMS :

Quality Management System の略。品質管理を中心とした組織の活動で、顧客満足を達成し、継続的な改善を意図する。

クラスルームイングリッシュ：

教師が可能な範囲での英語を使った学習方法。

グリーン購入：

製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入すること。

グリーンツーリズム：

緑豊かな農山漁村において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。

グループホーム：

高齢者や障がい者、親と一緒に暮らせない子どもなど生活に困難を抱えた人が専門スタッフ等の援助を受けながら、少人数で一般の住宅で生活する社会的介護、社会的養護の形態のことであり、地域社会に溶け込むように生活することが理想とされる。「集団生活型介護」ともいわれる。

健幸アンバサダー：

ここでは「健康」と「幸福」をかけ合わせて、「健幸」という表記としている。アンバサダーとは英語で「大使」を指し、公式、非公式問わずブランド、商品、イベントなどを無償で宣伝広告する人を指す。健康に関する正しい情報を身近な人に伝える伝道師の役割を担う人のこと。

合計特殊出生率：

一人の女性が生涯に産む子どもの数の平均を示す指標。この数値が 2.07 を上回ると人口の水準が保たれると考えられている。

コーディネート：

各部を調整し全体をまとめること。

コミュニティー：

日常生活のふれあいや連帯感、共同意識と信頼関係を築きながら、自分たちが住んでいる地域をみんなの力で自主的に住みよくしていく地域社会のこと。



CATV（シーエーティーブイ）：

Community Antenna Television の略。電波による無線放送ではなく、ケーブルを用いて伝送するテレビジョン放送。有線テレビジョン放送、またはケーブルテレビジョンともいう。テレビジョン放送の再送信はもちろん、自主制作テレビジョン番組のほかファクシミリ、静止画、文字情報など、音声や音楽を扱う有線ラジオ放送以外のすべての有線放送。

ジェンダー：

生物学的な男女の性差を前提として、社会的、文化的に作られた性別。

自然増加率：

総人口に対する自然増加（出生児数から死亡者数を差し引いた人数）の割合を示す指標。

指定管理者制度：

自治体が住民の福祉増進を目的として設置した施設（公の施設）を、民間事業者やNPO法人（非営利団体）等の団体を指定して管理運営させることができる制度のこと。

児童委員：

地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごと等の相談・支援等を行う。一部の児童委員は、児童に関することを専門的に担当する主任児童委員の指名を受ける。

社会増加率：

総人口に対する社会増加（転入者数から転出者数を差し引いた人数）の割合を示す指標。

ジョイント：

つなぎめ、継ぎ手。ここでは梨栽培の仕立てで、樹木を隣同士で接いで一本にしてしまう方法を指す。樹勢維持や樹冠構造の均一化が図られ、早期から収穫量をあげることができ、作業時間の短縮効果が認められる。

障がい者雇用率：

「障害者の雇用の促進等に関する法律」によって定められた割合。民間企業、国及び地方公共団体に対し、それぞれ雇用割合が設けられており、平成30（2018年）年4月1日以降の民間企業の法定雇用率は2.2%、国及び地方公共団体の法定雇用率は2.5%。

小規模多機能型居宅介護：

住み慣れた生活圏で住み続けるための在宅高齢者の支援施設として、24時間365日、切れ目なく連続的に介護サービスを供給できるように、「通い」「泊まり」「訪問」の機能を備えた、規模は小さいながらも多彩な機能を持った介護サービスのこと。

ショートステイ：

障がいのある人や高齢者の介護を行う人が病気等の理由により一時的に介護が不可能な場合に、障がいのある人や高齢者が施設に期間限定で短期入所し、日常生活の世話や機能訓練等を受けることができる介護サービスのこと。

情報モラル：

情報社会で適切な活動を行うための基になる考え方と態度。

人財：

「地域にとって人は資産・財産である」という意味合いを込め、あえて「人財」と表記。

ストック：

資産。

生活支援コーディネーター：

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的に、地域において生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネートを行う人。

成年後見制度：

認知症、精神障がい、知的障がいなど精神上的障がいにより判断能力が低い状態が相当期間続いている場合に、本人の判断を他の者が補うことによって、本人を支援する制度。

セキュリティー：

危険から守り安全を保つこと。また、社会の秩序を守ること。IT分野ではコンピュータ・システムの安全性やデータの機密性を保つことをいう。

Society5.0：

狩猟社会(Society1.0) 農耕社会(Society2.0) 工業社会(Society3.0) 情報社会(Society4.0) に続く、新たな社会を指し、我が国が目指すべき未来社会の姿とされる。仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会。



ダイバーシティー：

多様性。主にビジネス、経営、人事などで人種、国籍、性、年齢は問わず、その違いを受け入れ、尊重の上、人材活用をすること。

地域新電力：

地方自治体の参画・関与のもとで、小売電気事業を営み、得られる収益等を活用して地域の課題解決に取り組む事業者。

地域BWAシステム：

市区町村単位でケーブルテレビ会社等が連携する無線電気通信システムのこと。

地域包括ケアシステム：

高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで送れるように、地域がサポートし合う社会システムのこと。

着地型観光：

観光客の受け入れ先が地元ならではのプログラムを企画し、参加者が現地集合、現地解散する観光の形態。

ティーム・ティーチング：

複数の教員が役割分担し、協力し合いながら指導する方法。

デイサービス：

障がいのある人や高齢者が、自宅から通いながら、入浴、食事、各種介護、機能訓練、レクリエーション等を日帰りで受けることができる施設サービスのこと。

テレワーク：

職場に通勤しなくても、情報通信技術を活用し、遠隔で働くことができる働き方。



ノーマライゼーション：

子どもや女性、障がいのある人、高齢者など、社会的に弱者であるとみなされている人々が、住み慣れた地域社会の中で、その人らしい安定した暮らしができるように、共に支え合い、互いに尊重し合える社会の実現を目指すこと。



8050問題：

2010年代以降の日本に発生している長期化したひきこもりに関する社会問題。80代の親が50代のひきこもりの子の生活を支えており、その多くは様々な理由から外部への相談も難しく、親子で社会から孤立した状態に陥っている。

バリアフリー：

障がいのある人や高齢者が、生活、利用する上での障壁を取り除くこと。

PFI：

民間資金と経営能力、技術力を活用し、公共施設の設計・建設・改修・更新や維持管理、運営を行う公共事業の手法。

ピークアウト：

頂点（ピーク）に到達し、これ以上は上昇、成長しないという段階、これ以降は下降、衰退していく段階に至ることを意味する。

BCP：

事業継続計画。

BDF :

バイオディーゼル燃料(Bio Diesel Fuel)のこと。化石燃料である軽油の代替燃料として、使用済の天ぷら油（植物性廃食用油）を原料に精製され、トラックや重機、トラクター、発電機などで使用されている。

PPP :

公民連携。公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念。

ビッグデータ :

一般的なデータ管理・処理ソフトウェアで扱うことが困難な巨大で複雑なデータの集合体。

非認知能力 :

IQや学力など数値化可能な「認知能力」に対して、粘り強さや思いやり、コミュニケーション能力など、生きていく上で必要な数値化できない能力のこと。

5G（ファイブジー）

第5世代移動通信システムのこと。超高速化による高解像度の計画配信や超多数同時接続によるIoT*の普及等が可能となる。（IoTについては、1ページを参照）

ファミリー・サポート・センター :

地域において子育ての相互援助活動を行う会員制の組織のこと。仕事と家庭の両立を支援するために、育児や介護を地域で支えていこうとするシステムであり、子どもの送迎や一時的な預かり、介護の援助等について、援助を頼みたい「依頼会員」と依頼を請け負う「協力会員（援助会員）」を行政が調整し、支援する。

ふるさと教育 :

鳥取県は「地域資源（人・自然・文化・産業等、地域の価値を創造するものの総称）を通して故郷に誇りと愛着を持たせることで、帰属意識と自らのアイデンティティ（主体性、自己同一性）を創りあげていく教育活動」と定義している。

フレイル :

健康な状態から要介護の状態に移行する段階の身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のこと。

ブロードバンド :

速度の速い通信回線とその回線を利用して、大容量データを活用する様々なサービス。

ヘルスリテラシー :

健康面での適切な意思決定に必要な、基本的健康情報やサービスを調べ、得て、理解し、効果的に利用する個人的能力を意味する。医療リテラシーともいう。

ホームドクター :

病気になったり、けがをした時など、最初に相談する医者。かかりつけの医者のこと。

ホームヘルパー：

心身の障がい等の理由により、日常生活を営むのに支障のある高齢者や障がいのある人の家庭を訪ね、身体の介護や家事サービスを提供する人のこと。



ま行

M a a S：

Mobility as a Service の頭文字を取ったもの。バス、鉄道、タクシーやカーシェアなどのあらゆる交通手段や情報通信技術を用いて、個別の移動手段ではなく需要に応じて利用できる一連の移動手段に統合すること。

民生委員：

厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める人で、児童委員を兼ねている。



や行

ユニバーサルデザイン：

文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障がい・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計（デザイン）をいう。その概念は製品だけでなく、情報、環境、精神面などにも汎用。



ら行

ライフサイクルコスト：

製品や製造物などの費用を調達、使用、廃棄の段階をトータルとして考えたもの。生涯費用とも呼ばれる。

レセプト点検：

保険医療機関又は保険薬局から審査支払機関を通じて提出された診療報酬、調剤報酬請求明細書（レセプト）が、保険者へ正しく請求されているか点検すること。

労働力人口：

満15歳以上の人口のうち、就業者、休業者、完全失業者の合計を指す。それに対し、学生、

家事従業者など、職を持たず、職を求めない者の合計は、非労働力人口と呼ばれる。



ワーケーション：

「ワーク(仕事)」と「バケーション(休暇)」を組み合わせた造語。観光地やリゾート地などの好環境で休暇を取りながらテレワークを行う労働形態。

ワンストップサービス：

一度の手続きで、必要とする関連作業をすべて完了させられるように設計されたサービス体制のこと。